

令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①ひらがな、かたかなに親しみ、読み書きすること。 ②音読を通して、内容の理解を深めること。 ③話の順序や場面の様子に着目しながら、内容の大体を読み取ること。	①読書活動や言葉の面白さを感じる活動を通し、文字を覚え、読む力、書く力を育てる。【表現】 ②音読劇や多様な音読を計画的に取り入れることで、内容の理解を深める。【対話・表現】 ③内容を読み取るために、主語、述語や会話文など何に着目すればよいかを児童が選択できるようにする。【発見・決定・対話】	B	
算数	①数の概念について理解すること。 ②図形について、特徴を捉えたり弁別したりすること。 ③加法・減法について問題場面を把握し、正確に計算し、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようすること。	①②具体的な操作を日常的に取り入れ、数や図形を多角的に見る活動を取り入れることで、数や図形の概念を理解できるようにする。 【発見・対話】 ③日常生活から問題場面をつくったり、具体物操作から、絵、図、式を相互的に関連解け、問題のイメージをもてるようにならう。【発見・表現】	B	
生活	①自然と関わる経験を積み重ね、自らすんで関わろうとすること。 ②人や自然と関わる活動の中で体験し学んだことを、自分の生活にも取り入れようとする。	①体験を重視し、実際に観察したり、見学やインタビューをしたりする活動を多く取り入れていく。 【発見】 ②体験から多くの気づきが得られるよう、地域の人や友達と交流する時間を多く設定する。【対話】	A	
音楽	①楽しく音楽に関わり、音楽に対する興味・関心をもつこと。 ②音楽表現をするための基礎的な技能を身に付けること。	①楽曲の気分に体全体で反応したり、自然に表現したりするなど、児童が夢中になって取り組むことができる活動を意図的に組み込む。 【発見】 ②鍵盤ハーモニカやタンバリン、カスタネットなどの身近な楽器に触れさせ、音色や響きを楽しみながら、基礎的な技能の力を育てる。【表現】	B	
図画工作	①はさみやのり、絵の具の使い方、紙を折る、紐を結ぶなど、指先を使った作業をすること。	①日常から、指先を使った作業を繰り返し取り入れる。また操作の手順を分かりやすく提示したり、道具の使い方を実際に見せたりすることで、基本的な技能を身に付けさせられるようにする。【発見・表現】	A	
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分にあった運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択すること。	①ICT機器を有効に活用し、映像でお手本の動きや運動のコツを視聴し、体の動かし方のイメージをつかみやすくする。【発見】 ②段階的に技能を習得できる場を設け、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。 【決定】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。